

## 審議会会議録

会議名称	平成25年度 第1回伊達市社会教育委員会議		
議 題	平成24年度社会教育関係事業報告		
開催日時	平成25年5月22日（水曜日）14時から15時まで		
場 所	伊達市役所第2庁舎2階第1会議室		
出席者	社会教育委員10名（欠席2名）、市教委6名		
	所管部課名	教育部生涯学習推進課	
公開 非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	

## 【会議概要】

## 1. 開 会

## 2. 委嘱状机上交付

## 3. 委員・職員自己紹介

## 4. 挨拶 教育部長

## 5. 仮議長の選出

## 6. 議 事

## 【役員選出について】

教育部長を仮議長とし、議長・副議長を互選。委員より事務局案の提示希望有。前議長が勇退したため、議長には前副議長の尾上委員、副議長は中澤委員の案を提示、全会一致で事務局案が承認された。

## 7. 報 告

## 【平成24年度社会教育関係事業報告】

社会教育関連事業、青少年関連事業、社会教育関係補助金、図書館及び文化課に係る事業について、各担当課長、係長から説明。

## 【質疑】

- ・A委員：社会教育関係補助金で「児童生徒文化・スポーツ全国大会等出場奨励補助金」とあるが、文系の大会に関しても対象となるということか。
- ・市教委：当該補助金は、平成22年度に新設の制度であるため、まだ実績がないが、予選を経ての全国大会出場の場合、文化系も該当となる。「スポーツ大会出場奨励補助金」は全道大会等への出場補助で小学生から大人までだ

がスポーツの場合である。文化系の場合、市内の小中学生については、学校教育課における補助制度の対象となる。

文化系の高校生対象の補助が手薄となっており、かつて伊達高校の文系部が全国大会に出場するときには、教育長交際費で対応したことがある。

- ・ A委員：経験上、スポーツ系クラブの父兄は補助金関係などをよく知っている人が多いが、文化系クラブの方は案外知らない父兄が多いように思うし、情報交換もあまりないので、ぜひ周知してほしい。
- ・ B委員：高校については、体育・文化後援会があり、個人が負担するようにはなっていないが、多少でもあると助かる。
- ・ 議長：図書館の報告の中にブックスタートボランティアとあるが、事業はいつ行っているのか。全国的なものか。
- ・ 市教委：保健センターで行う1歳児健診の際に集まった親子を対象に、保健師、保育士、司書、ボランティアで絵本の読み聞かせを通し絵本の面白さ、大切を伝えたりするなど交流を図っている。  
児童家庭課に聞いたところでは、平成17年に国の通知により全国的に行っているが、現在はやっていない自治体もあるようだ。
- ・ C委員：稀府小では陸上で昨年、全道大会出場しているが、補助該当になるということではどうか。
- ・ A委員：毎年、全道や全国に行っている学校では補助に関する予備知識が豊富で、引き継がれても行くが、そうでないとなかなか気づかない。
- ・ D委員：特に小規模校では、教員も変わっていくのでより難しいものがある。
- ・ 市教委：申請制であり、課でもなかなか把握できない面もある。  
いずれにしても今後、校長会等で周知するなど考えたい。
- ・ E委員：孫が図書館で絵本を借りてきたところ、ボロボロであった。  
絵本についても、新しくすることを希望する。

#### 【その他】

社会教育係よりお知らせ

- ・ 今後の胆振、北海道の社会教育委員会議の予定について
- ・ 昨年に引き続き、今年12月にもカルチャーセンターの空調設備点検が大ホールと講堂で予定されている。その間の他の部屋の使用が可能かどうか確認中。